

10月9日に開催された秋田ファミリーマラソン大会の
スタートの様子（千秋公園中土橋）



あきた 市議会だより

No.188

令和4年
11月18日

9月定例会の概要	P 2
令和3年度決算	P 3
9月定例会の議決結果	P 4
一般質問	P 5～8
予算決算委員会各分科会の審査から	P 9～10
11月定例会のお知らせ（予定）	P 10

秋田市議会ではLINEによる情報発信をしています。
LINEの「友だち追加」から「ID検索(@akitacity_gikai)」
または「QRコード」で登録できます。



ゴールまでもう少し！
（ソユースタジアム）

9月 定例会の概要

9月1日～10月7日

9月定例会では、秋田市立学校設置条例の一部を改正する件など条例案5件、予算案6件、単行案7件をすべて可決したほか、令和3年度秋田市一般会計、特別会計および公営企業会計の決算4件を認定しました。また、陳情1件を採択し、人事案4件に同意したほか、議員提案による意見書案1件を可決しました。

予算

新型コロナウイルス感染症 対策関連事業

新型コロナウイルス ワクチン接種事業

今後実施が見込まれるオミクロン株対応ワクチンの接種に必要な経費として、予診票等の印刷・発送、コールセンターの設置、個別接種・集団接種の実施に要する費用を増額します。
11億7千96万9千円

新型コロナウイルス感染症 対策プレミアム付商品券 発行事業

消費喚起と市内事業者の販売促進を図るため、プレミアム付商品券を追加発行します。
発行額 15億円（うちプレミアム分3億円）
発行数 15万冊（1人2冊まで購入可能）

※9ページに関連記事掲載



秋田市プレミアム付商品券

住民税非課税世帯等電力・ガス・食料品等価格高騰 緊急支援給付金給付事業

電力・ガス・食料品等の高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯（市県民税非課税世帯等）を支援するため、1世帯当たり5万円の給付金を給付します。
対象世帯 次のいずれかに該当する世帯

- ① 基準日（4年9月30日）時点において市内に住所を有し、世帯全員の4年度市県民税が非課税である世帯
- ② 4年1月以降に予期せず家計が急変し、①の世帯と同様の事情にあると認められる世帯

22億4千924万円



多世帯同居・近居推進事業

多世帯家族の同居または近居のために必要な住宅の新築、改修等への補助について、申請件数の増が見込まれるため、補助金を増額します。

・当初54件↓見込み94件
4千万円

高齢者等デジタル活用 支援事業

市民のデジタル活用に係る格差解消に向け、民間事業者と連携してスマートフォン相談窓口を設置します。

- ① 秋田市役所本庁舎1階（週4回）
- ② 秋田拠点センターアルヴェ 3階（週1回）

開設日 4年11月1日
128万円



本庁舎1階のスマートフォン相談窓口

条例

秋田市立学校設置条例の一部を改正

太平中学校および城東中学校の統合ならびに秋田西中学校、豊岩中学校および下浜中学校の統合に伴い、太平中学校、豊岩中学校および下浜中学校を廃止するため、改正しました。

施行期日 5年4月1日から

単行案

秋田市旧松倉家住宅の 指定管理者を指定する件 指定管理者 株式会社秋田 東北ダイケン

指定期間 5年3月21日から10年3月31日まで



5年3月の開館に向け修復中の旧松倉家住宅

人事

公平委員会委員

高橋能成氏（新任）

人権擁護委員

長谷部正直氏（再任）
上野裕幸氏（新任）
佐藤郁子氏（新任）



令和3年度決算

審査における質疑および答弁の内容は10ページに掲載しています。

一般会計および特別会計決算額 (千円未満四捨五入)

歳入決算額①	2,398億4,590万7千円
(前年度比)	165億3,972万9千円減)
一般会計	1,613億3,476万円
特別会計	785億1,114万7千円
歳入執行率	94.0% (2年度94.9%)
歳出決算額②	2,355億3,321万3千円
(前年度比)	164億2,574万円減)
一般会計	1,592億3,684万6千円
特別会計	762億9,636万7千円
歳出執行率	92.3% (2年度93.3%)
歳入歳出差引額③=①-②	43億1,269万4千円
(前年度比)	1億1,398万9千円減)
一般会計	20億9,791万4千円
特別会計	22億1,478万円
翌年度への繰越財源④	6億2,496万3千円
(前年度比)	7億2,743万8千円減)
一般会計	6億1,052万9千円
特別会計	1,443万4千円
実質収支額⑤=③-④	36億8,773万1千円 (黒字)



予算決算委員会の様子

公営企業会計決算

水道事業

給水状況

給水世帯数13万7千149世帯
(前年度比346世帯増)

給水人口 30万2千215人
(前年度比2千42人増)

普及率 99・7%

財政状況

収入では、給水収益が前年度と比較して0.3%の減となったものの、特別利益の増などにより、前年度比1.6%の増となりました。支出では、総係費の減などにより、前年度比1.8%の減となりました。この結果、11億4千897万6千円の純利益が生じ、全額を利益剰余金に計上しました。

下水道事業

普及状況

処理区域内面積 6千65ha
(前年度比57ha増)

処理区域内人口28万5千559人
(前年度比702人減)

普及率 94・7%

財政状況

収入では、下水道使用料が前年度と比較して0.1%の減となったほか、長期前受金戻入の減などにより、前年度比1.5%の減となりました。

農業集落排水事業

普及状況

処理区域内面積 562ha
(前年度比63ha減)

処理区域内人口 7千661人
(前年度比1千495人減)

普及率 2.5%

財政状況

収入では、長期前受金戻入の減などにより、前年度比6.7%の減となりました。支出では、減価償却費の減などにより、前年度比7.1%の減となりました。この結果、2千63万3千円の純利益が生じ、全額を利益剰余金に計上しました。



「秋田市水道発祥の地」
藤倉水源池

9月定例会の議決結果

◆全員一致で可決・認定・同意した議案

全員一致で可決等した議案は件名のみを掲載しています。

件名	
条例案	秋田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する件
	秋田市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する件
	秋田市特別用途地区内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する件
	秋田市建築基準法関係手数料条例の一部を改正する件
	秋田市立学校設置条例の一部を改正する件
単行案	字の区域を変更する件
	秋田市旧松倉家住宅の指定管理者を指定する件
	市道路線を廃止する件
	市道路線を認定する件
	上北手地区コミュニティセンター改築工事請負契約を締結する件
	秋田市LED防犯灯交換および修繕業務委託契約を締結する件
予算案(先議分)	令和4年度秋田市一般会計補正予算(第4号)の件
	令和4年度秋田市一般会計補正予算(第5号)の件
予算案	令和4年度秋田市中央卸売市場会計補正予算(第2号)の件
	令和4年度秋田市学校給食費会計補正予算(第1号)の件
	令和4年度秋田市一般会計補正予算(第6号)の件
	令和4年度秋田市一般会計補正予算(第7号)の件
	令和3年度秋田市水道事業会計決算認定の件
決算認定	令和3年度秋田市下水道事業会計決算認定の件
	令和3年度秋田市農業集落排水事業会計決算認定の件
	秋田市公平委員会委員の選任について同意を求める件
人事案	人権擁護委員の候補者の推薦について意見を求める件(3件)

◆賛否が分かれた議案等

賛否が分かれた議案等は各議員の表決状況を掲載しています。

件名	議決結果	秋水会											フロンティア秋田				市民クラブ		公明党			共産党		そうせい		議長											
		萩原貴幸	工藤知彦	細川信二	安井正浩	川口雅丈	佐藤雅一	伊藤一巧	熊谷重隆	菅原琢哉	渡辺正宏	小野寺誠	小木田喜美雄	赤坂光一	山崎宗雄	後藤良	船木純	藤田信浩	倉田芳浩	小林一夫	安井誠悦	藤枝隆博	見上万里子	工藤新一	花田清美		牧野正守	武田秀博	石塚淳子	成沢順子	奈良久	佐藤順久	鈴木久知	佐藤純子	小松健	齊藤勝	岩谷政良
市長提出	令和3年度秋田市一般会計および特別会計歳入歳出決算認定の件	認	定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議員提出	不登校児童生徒に対して多様な学習機会を確保するための経済的支援制度の確立に関する意見書提出の件	可	決	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
陳情	不登校児童生徒に対して多様な学習機会を確保するための経済的支援制度の確立に関する意見書の提出について	採	択	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	秋田駅西口のバス乗り場の改善について	不	採	択	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	

★賛否は、賛成(○)と反対(×)で掲載しています。
○：賛成【可決・承認・認定・同意・採択】、×：反対【否決・不承認・不認定・不同意・不採択】、欠：欠席、議：議長

★略記している会派の名称
「公明党」は公明党秋田市議会、「共産党」は日本共産党秋田市議会議員団

各議員の表決状況はホームページでも公開しています。

意見書を提出しました

秋田市議会の意見として、次の意見書を、国会および関係行政庁に提出しました。
○不登校児童生徒に対して多様な学習機会を確保するための経済的支援制度の確立に関する意見書

一般質問

議員の質問項目や本会議の録画映像をホームページからご覧いただけます。

議員の質問項目(PDF) ⇒



本会議の録画映像 ⇒



蓄電池設置費用の助成 まちなか観光案内所

秋水会
おきわら 荻原 貴幸
たかゆき

◇市長の政治姿勢◇子育て応援施策◇再生可能エネルギー・新技術等の導入・開発支援◇外旭川地区まちづくり◇小中学校の防災教育◇防災◇秋田市まちなか観光案内所

問 省エネ・節電策として、太陽光発電システム設置の補助に連付けて、蓄電池設置費用の一部を補助してはどうか。

答 本市では、再生可能エネルギーの利用促進を図るため、太陽光発電システム設置費用の補助を行っています。同システムは、蓄電池と組み合わせることにより、日中発電した電力を夜間の電力需要に活用できるほか、停電時の非常用電源としても利用できるため、再生可能エネルギーの導入拡大につながるものと認識しています。しかし、蓄電池は設置費用が課題であることから、同システムのさらなる普及促進に向け、蓄電池設置費用の補助を今後

検討したいと考えています。

問 まちなか観光案内所は、文化創造館やあきた芸術劇場ミルハスなどの周辺施設とも連携する必要があると考えますが、多くの観光客に利用してもらうための取り組みをどのように考えていますか。

答 同案内所は、令和4年7月に大町や通町の商店街などを会場に実施された商店街スゴロクに協力するなど、近隣商店街等との連携による周辺地域のにぎわいづくりに寄与しています。今後は、観光案内所としての機能に加え、市内最古のれんが造りの外観を生かし、あきた芸術劇場ミルハスの来場者の立ち寄りスポットとしての活用や、文化創造館、民俗芸能伝承館等の周辺文化施設との連携など、さらなる利用促進につなげていきます。



アップサイクリングの場 高齢者の集いの場

フロンティア秋田
ふじた まこと 藤田 信

◇市長の政治姿勢◇小学校高学年における教科担任制◇高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進◇自転車活用の推進◇節度ある適度な飲酒の推進◇循環型社会の構築◇小児がんの治療等により定期予防接種で獲得した免疫が失われた方への再接種

問 リサイクル(再生利用)推進の取り組みの一つとして、廃棄物に新たな付加価値を持たせるアップサイクリング(創造的再利用)の推進に取り組む考えはありますか。

答 廃棄物のリサイクルにおいて、アップサイクルリングは、環境負荷の低減などさまざまな分野に好影響が及ぶ新たなリサイクルの考え方であると認識しています。こうした取り組みは、循環型社会の構築に向け、今後拡大していくことが期待されることから、本市において、その推進に向け、調査、研究していきます。

問 高齢者の孤立化予防や社会参加のきっかけづくりのため、いつでも誰でも行きやすい日常的な集いの場として、地域のサロンを各市民サービスセンターなどに設置し、運営できませんか。

答 高齢者が気軽に集い、生きがいづくりや仲間づくりの輪を広げる場である通いの場については、地区社会福祉協議会などさまざまな実施主体により、市内のほぼすべての地域で定期的な運営されていますが、既存のサロンなどに参加しづらいなどの声があることも承知しています。そうした声に対応し、より多くの市民の方に参加してもらえよう、現在、新たな実施主体による通いの場の各市民サービスセンター圏域ごとの設置について検討しており、今後いつでも誰でも行きやすい通いの場づくりに努めていきます。

■ 請願・陳情の提出について

請願書・陳情書は趣旨を具体的に記載し、提出年月日、提出者(代表者)の住所を記載、氏名については署名または記名押印の上、定例会の招集日の3日前(市の休日は算入しません)の午後5時までに議長あてに提出してください。

ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局議事課 電話018(888)5784

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。



外旭川地区のまちづくり
シニアアキカの運用

市民クラブ
くどう しんいち
工藤 新一

◇外旭川地区のまちづくり◇
公共交通の確保◇高齢者コインバス事業専用ICカード（シニアアキカ）の運用◇エイジフレンドリーシティ◇除排雪の改善◇ゼロカーボン宣言◇千秋公園大手門の堀

問 外旭川地区のまちづくりについて、今後、事業パートナーから示された具体案が受け入れられない場合は、どのように対応するのですか。

答 今後、同地区におけるモデル地区での取り組みが本市の抱える課題解決につながるよう協議を進めていきますが、事業パートナーから示される具体的内容が、事業の継続性・実現性を担保できないものである場合は、本事業自体を見直す可能性もあると考えています。



問 各市民サービスセンター等において、高齢者コインバス事業専用ICカード（シニアアキカ）の仕組みや使用方法などの理解を深めるため、利用対象者への説明会を開く考えはありますか。

答 窓口等におけるシニアアキカの利用方法の問い合わせについては、1件ずつ対応し、おおむね理解をいただいています。ICカードの利用に不安を覚える高齢者が一定数いるものと認識しており、その不安を解消するために丁寧な周知や説明の機会を設けて理解していただくことは重要であると考えています。そのため、シニアアキカの発行の際には、利用方法を記載した利用ガイドを併せて配布するとともに、提案のあった各市民サービスセンターなどを会場とする説明会の開催についても、実施に向けて検討していきます。



古川流域の総合的な治水対策
耕畜連携

公明党秋田市議会
いしづか ひでひろ
石塚 秀博

◇「リトルベビーハンドブック」の作成◇堆肥等の活用による環境に配慮した持続可能な農業◇古川流域の総合的な治水対策及び河川防災ステーション

問 排水機場などの各施設の連携強化のための運用方法等について検討結果を示すべきではありませんか。

答 排水機場は、システムが複雑であることなどから、各施設の操作を1カ所にまとめて行うことは考えていないものの、各極門と排水機場が連携し運用できる仕組みについて、各施設間で調整を進めています。

問 平常時の河川防災ステーション敷地の活用について、地域住民等にアンケート調査を実施し、住民意見を取り入れながら取り組むべきではありませんか。

答 （仮称）秋田水防センターの検討に当たっては、

地域の町内会等を対象としたワークショップ等を開催し、そこで出された意見を参考にしながら活用構想を取りまとめ、国と協議を行うこととしています。

問 耕畜連携について、堆肥活用における現在の取り組み状況と推進に当たっての課題は何ですか。また、今後の展開についてどのように考えていますか。

答 耕畜連携は、資源循環型農業に向けた有効な取り組みであり、現在、試験ほ場で施肥効果の検証などを進めています。その結果、化学肥料の低減効果が見られた一方で、品質のばらつきによる施肥量の調整などが課題となっています。今後は、各農家に堆肥の効能等を周知するとともに、供給体制の整備や散布機械の導入支援等により、耕畜連携の促進に取り組んでいきます。

■本会議を生中継しています

本会議は、秋田ケーブルテレビ（デジタル121ch）およびホームページの動画配信により、全日程を生中継しています。開始時間は、午前10時を予定していますが、都合により遅れることもありますので、ご了承ください。

11月定例会の本会議は、11月28日、12月7日、8日、9日、21日に開催予定です。

一般質問

議員の質問項目や本会議の録画映像をホームページからご覧いただけます。

議員の質問項目(PDF) →



本会議の録画映像 →



問 中学校卒業までの学校給食費を無償にすべきではありませんか。

答 学校給食費の無償化については、年間約12億円に及ぶ多額の経費を要することから、現時点において実施は難しいものと考えられています。経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学校給食費として負担する額の実費を援助するなど、経済的負担の軽減に努めているところです。

◇市長の政治姿勢◇市民のいのちと暮らしを守るために◇子育て支援◇高齢者に優しく、高齢者が活躍できる支援◇公共交通の利便性◇男女共同参画社会を推進するために◇農業政策◇第14次秋田市総合計画推進計画における雄和地域の整備方針



学校給食費の無償化 高校卒業までの医療費無料化

日本共産党
秋田市議会議員
佐藤 純子
さとう じゅんこ

問 高校卒業までの医療費を完全無料化すべきではありませんか。

答 子どもの福祉医療制度の充実、子育て世帯の医療費負担の軽減や、子どもを生み育てやすい環境の整備につながるものと認識しています。本市では、これまで福祉医療制度を段階的に拡充してきており、比較的医療費負担が大きい低年齢層への支援に重点を置いて、医療費助成に取り組んでいるところです。今後の制度拡充については、市民ニーズや財政状況を勘案しつつ、子育て施策全体のバランスを考慮しながら、所得制限の緩和や対象年齢の拡大等について検討を進めていきます。



外旭川地区の土地利用 ワンウェイプラスチック(※)

秋水会
伊藤 一榮
いとう かずえい

◇外旭川地区まちづくり事業
◇中心市街地の活性化◇新型コロナウイルス感染症◇人口減少対策◇子どもの貧困対策◇消費者行政◇プラスチック使用製品廃棄物◇農業施策◇福祉施策

問 外旭川地区まちづくり事業において、土地利用規制に関する検討の進捗状況はどうですか。また、土地利用上の課題への対応手法として地域未来投資促進法を活用していく考えはありますか。さらに、事業パートナーからの提案内容は、近隣の商業施設への影響が大きいと考えますが、総敷地面積や民間施設等の変更はあり得るのですか。

答 土地利用上の課題を解決するため、市街化調整区域を市街化区域へ編入する区域区分の変更と、地域未来投資促進法に基づく土地利用規制の特例措置の活用という2つの手法を検討しており、早期に実現可能な

手法を決定したいと考えています。また、提案があった個別の事業等については、近隣商業施設への影響などの観点から検討しているところです。今後、モデル地区の範囲や必要な民間施設等についても整理していきます。

問 ワンウェイプラスチック削減をどのように進めていますか。また、市民や事業者の反応と今後の課題は何ですか。

答 市民には、各種講座等による啓発活動を積極的に展開することにより、関心が今後さらに高まると期待しています。また、事業者には、戸別訪問等により、削減に向けた取り組みが着実に広がっているものととらえています。今後のさらなる削減に向け、市民意識の醸成や事業者の理解と協力が必要であることから、引き続き、普及啓発活動に努めていきます。

※「ワンウェイプラスチック」とは・・・

一度だけ使われて廃棄されるプラスチック製品のことで。例として、レジ袋や使い捨てスプーンがあります。



本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。



満期出所者などへの支援策
アプリの導入による道路管理
フロンティア秋田
倉田 芳浩

◇秋田市の向かうべき姿◇補助金等の適正な運用◇放課後等デイサービス◇本市の会計年度任用職員等◇再犯防止◇道路損傷等通報システム◇市役所のエアコン使用◇骨箱の処分◇不登校◇諸課題

問 保護司の支援が受けられない満期出所者などの就労や住居の確保は、どのような状況ですか。

答 満期出所者などの就労支援や住居の確保については、生活困窮者等就職困難者への就労支援や、市営住宅への公平な入居機会の確保に努めているところですが、事情を明らかにしたくない等の理由から、直接の相談には結び付いていない状況があります。秋田県地域生活定着支援センターでは、満期出所者の高齢者または障がい者のうち自立した生活を営むことが困難と認められる方に対し、受け入れ先施設等のあっせんや福祉サービスへつなぐ支援

を行っており、同センターとの連携を十分に図りながら、満期出所者の方々が適切なサービスを受けられるよう引き続き必要な支援に努めていきます。

問 道路損傷等通報システムのスマートフォン用アプリを導入し、同アプリで同時に除排雪の情報も管理しはどうか。

答 本市の道路情報の収集については、スマートフォンなどから随時投稿できるようになっており、その情報を基に、現場対応しています。また、除排雪の情報は、除排雪コールセンター等により収集し、除排雪専用のデータベースで管理しています。同アプリの導入は、市民の利便性が向上するなど一定の効果が期待できる一方で、運営コストなどの課題もあることから、現在のツールがわかりやすく便利なものとなるよう、研究していきます。



外旭川まちづくりの進め方
大森山公園の情報発信
秋水会
小木田喜美雄

◇市政経営に対する市長の基本姿勢◇秋田市行政改革大綱計画◇歴史・文化施設◇大森山公園の今後◇教育行政◇道路除排雪の基本計画書◇マイナンバーカードの交付率向上に向けた取組

問 外旭川地区まちづくりの今後の進め方と、市長の意気込みはどうか。

答 まちづくり基本構想の策定に当たり、庁内検討委員会等において、モデル地区整備に関し必要な事項を検討するとともに、事業パートナーとの連携を図りつつ具体的な協議を重ね、取りまとめた市の考え方をまちづくり懇話会に説明し、さまざまな見地からの助言や提言を受けることにしています。また、アドバイザーからの専門的かつ事業の円滑な推進に向けた助言を受け、進めていきます。モデル地区の整備を進めることで、人口減少下にあっても

持続可能な社会基盤の構築を目指すとともに、魅力あるまちを実現したいと考えています。

問 大森山公園を、自然環境を生かした動物学習、自然学習の教育の公園と位置付け、命の大切さ、心の触れ合う教育の場としても、全国へ情報発信してはどうですか。また、四季を通じた教育の場として、大森山動物園を通常の開園とすべきではありませんか。

答 同公園は、同動物園とともに、自然と生命の大切さを学ぶ教育の場を目指しており、一体的に活用できる大森山の魅力を広く全国へ情報発信していきます。また、同動物園は1月、2月の土日祝日に雪の動物園を開園していますが、平日を含めた通常開園は、コスト面に加え、動物の体調管理などの課題もあることから、引き続き実施に向けた調査研究を進めます。

議会の動き

8月29日 各派会長会議
議会運営委員会
9月1日 9月定例会
(10月7日まで)
10月7日 各派会長会議

10月24日 編集委員会
31日 総務委員会行政視察
(11月2日まで)
厚生委員会行政視察
(11月1日まで)
11月8日 各派会長会議

11月8日 議会運営委員会視察
(11月9日まで)
9日 建設委員会行政視察
(11月10日まで)
11日 総務委員会(閉会中)

総務分科会

総務部、企画財政部、デジタル化推進本部、会計課、消防本部などの所管事項

委員 高齢者等デジタル活用支援事業について、秋田拠点センターアルヴェおよび市役所本庁舎に無料のスマートフォン相談窓口を開設することですが、この場所を選定した理由は何ですか。また、この相談窓口は、高い需要が見込まれるため、各市民サービスセンターなどにも設置すべきと考えますが、今後そのような検討を行っていくのですか。

デジタル化推進本部

相談窓口の開設場所については、連携協定を締結した共同事業者と協議の上、交通の便が良い秋田駅周辺および市役所本庁舎を選定したものです。また、事業開始に当たっては、2カ所でスタートするものの、相談終了後に利用者に対してアンケート調査を行い、開設場所や時間等の要望を反映させるなど、よりよい形で事業を実施できるように、今後検討していきます。

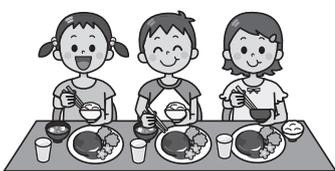
厚生分科会

市民生活部、福祉保健部、保健所、子ども未来部の所管事項

委員 子ども食堂等支援事業費補助金は、物価高騰支援分として、1団体当たり10万円を上限に補助しようとするものですが、この補助額で物価高騰の影響により増加となる経費を賅うことができると考えているのですか。

子ども未来部

同補助金のうち、物価高騰支援分における補助額の算定に当たっては、消費者物価指数の上昇率などを参考に利用者1人当たりの補助額の単価を設定し、利用者数を基に補助額を試算したところ、約10万円であったことから、この補助額で賅うことができるものと考えています。



教育産業分科会

観光文化スポーツ部、産業振興部、教育委員会、農業委員会の所管事項

委員 新型コロナウイルス感染症対策プレミアム付商品券発行事業について、今回の追加発行分は令和4年11月に販売を開始し、その利用期間が5年1月末までの3カ月と短期間であることから、最終的な利用率をどの程度と見込んでいるのですか。

産業振興部

3年度に同様の事業を実施した際には、3年12月末が利用期限であったことから、年末に向けて利用された傾向があり、同時に実施した新型コロナウイルス感染症対策商品券発行事業と合わせて、最終的な利用率は99・23%となったものです。今回は、さらに利用期間を延長し、5年1月末までとすることで、年末だけではなく、年始にも利用が進むことを想定しており、最終的には3年度と同様に、100%に近い利用率になるものと見込んでいます。

建設分科会

環境部、建設部、都市整備部、上下水道局の所管事項

委員 住宅リフォーム支援事業は、3千235万円の増額補正が計上されていますが、その算定根拠はどうなっているのですか。

都市整備部

同事業は、これまで、一つの住宅に対して1回としていた補助の回数を、令和4年度から2回に拡充したのですが、4年度当初予算においては、2回目の補助に係る申請件数を見込むことが困難であったことから、1回目の補助分のみを計上し、2回目の補助分については申請件数の実績に応じて補正予算等に対応することとしていたものです。このたび、4年6月末の時点で、2回目の補助に係る申請件数が161件となり、月平均で約54件に上ったことから、この実績に、7月以降の申請見込み486件を加え、年間合計647件の申請があることを想定し、補助額の5万円を乗じた3千235万円としたものです。

予算決算委員会各分科会の審査から（令和3年度決算について）

総務分科会

総務部 企画財政部、デジタル化推進本部
会計課 消防本部などの所管事項

委員 行政手続きのオンライン化について、取扱件数1千件以上の手続きのうち、11種類の手続きをオンライン化したとのことですが、オンライン化が可能な手続きはすべて対応済みとなったのですか。また、オンラインによる手続き件数の増加に向け、どのような取り組みを行ったのですか。

デジタル化推進本部

取扱件数1千件以上の手続き194種類のうち、オンライン化した手続きが11種類、法令上の規定等により対応できない手続きが64種類、そのほかに未対応の続きが19種類あり、今後は未対応の手続きをオンライン化させるため、担当課と連携を図っていききたいと考えています。また、オンラインでの受け付け開始時や手続き件数の増加が予想される時期には、来庁しなくても手続きが可能であることを広報するなど、オンライン手続きを利用してもらえるよう取り組みを行ったものです。

厚生分科会

市民生活部、福祉保健部、保健所
子ども未来部の所管事項

委員 がん検診等事業について、令和3年度もがん検診等の受診率が低かったのですが、受診率の向上を図るため、3年度はどのような取り組みを行ったのですか。また、今後はどの水準まで受診率を引き上げようと考えているのですか。

保健所

がん検診等の受診率の向上を図るための新たな取り組みとして、3年度は2年度に国民健康保険に加入した60歳代の方を対象に検診の勧奨通知を発送し、受診の促進を図ったものです。また、受診率について、3年度は2年度と比較して増加したものの、依然として受診率が低かったことから、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の水準まで受診率を引き上げていきたいと考えています。

教育産業分科会

観光文化スポーツ部、産業振興部
教育委員会、農業委員会の所管事項

委員 小学校防犯カメラ設置経費は、令和3年度末の警備員の廃止に伴う学校の安全対策として、全市立小学校に防犯カメラを設置したのですが、その効果と課題をどのようにとらえているのですか。

教育委員会

警備員の1日当たりの実働時間は4時間15分でしたが、防犯カメラは24時間防犯対策を取ることができ、併設している人感センサーおよび監視用モニターテレビにより不審者を事前に発見できることなどから安全対策としての効果が高いものと認識しています。また、課題としては、カメラの死角が生じる可能性が考えられることから、今後は実情に応じて増設等による対応などを検討する必要があります。

建設分科会

環境部、建設部、都市整備部
上下水道局の所管事項

委員 バス交通総合改善事業における秋田市マイタウン・バス東部線の北上手・中北手コースについて、運行形態の見直しを行ったとのことですが、その成果をどのようにとらえていますか。また、ほかの路線においても、運行形態の見直しに係る検討は行ったのですか。

都市整備部

同路線については、利用者数が少なく、収益率も低かったことから、車両や運転士を事前に確保せず、予約を受けた段階で普通タクシーを手配する運行形態としたものです。その成果として、予約できる便が増え、利用者の希望に応じた運行が可能となるなど、利便性が向上したことに加え、運行経費の縮減が図られたものととらえています。また、ほかの路線における運行形態の見直しについては、運行する車両の規格や利用者数などを精査した上で、今後、検討していきたいと考えています。

あきた市議会だより

No. 188

〒010-8560 秋田市山王二丁目1番1号 秋田市議会事務局

電話018(888)5784 ファクス018(888)5783 この冊子は全戸配布しています。

11月定例会のお知らせ（予定）

日程

11月28日	本会議
12月7日～9日	本会議「一般質問」
12日	常任委員会
13日～15日	常任委員会・分科会
19日	常任委員会
21日	本会議

一般質問予定者

工藤知彦、安井正浩、渡辺正宏（秋水会）
山崎宗雄、後藤良（フロンティア秋田）
見上万里子（市民クラブ）
牧野守（公明党秋田市議会）
佐藤広久（日本共産党秋田市議会議員団）
小松健（そうせい）

今回のあきた市議会だよりは令和5年2月3日発行予定です。



※日程および一般質問予定者は変更になることがありますので、議会事務局までご確認ください。

